



先生たちの研修「人権教育研修」

本日9日(水)は熊本市立の園・学校全ての職員が一斉に学び合う、「地区別人権教育研修」が開催されました。この研修会は、これまで継続した取り組みが行われ、今年で46回目です。この2年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、校内研修の形で行っていました。今年は3年ぶりに各校に分かれての開催となりました。この研修会は、全国的にも類のない熊本市独自の取組で、職員の人権意識を高めるために、熊本市の教職員全員が学び合う機会となっています。



子供を巡る問題が日々、山積している状況下で、私たち教職員が今一度子供を一人の人間として尊重し、かかわる必要を強く感じる事ができた研修会となりました。今後も子供の思いをしっかりと受け止め、人権意識を高めていこうと思いました。

熊本県科学研究所「学校賞」受賞

わくわく通信 NO.121「『科学』した夏」で、紹介した科学展についてですが、5年生の木山さんの、自由研究が県の科学展で「優賞」を受賞したことで、本校の研究作品が25年連続で入賞を果たし、「学校賞」を受賞しました。賞状にも「県内児童生徒の科学教育振興に大きく貢献されました。その業績と不断の努力をたたえ表彰します。」と明記されています。担当の牛島先生は「これまで理科担当として指導されてきた先生方の指導の賜物だと思っています」と述べています。今後も子供たちの自由で伸びやかな発想に期待しています。



体調に気を付けよう!

立冬(りっとう)は24節気の中で冬の始まりを意味する節気です。24節気とは、太陽の通り道である黄道をもとに一年を24分割した時期のことを言います。

春分や夏至、秋分、冬至などは、馴染み深いと感じられる方も多いのではないのでしょうか。この「春分・夏至・秋分・冬至」は24節気をちょうど4分割した日にあたり、春夏秋冬の移り変わりを告げる目安にもなっています。24節気において、冬の最初の節気である「立冬」。「立」には、季節のはじまりという意味があり、立冬の日から冬が始まることとなります。およそ11月7日~11月21日頃にあたり、昼夜の寒暖差が一層激しくなるため、一年で最も体調を崩しやすいと言われています。

この時期には、来たる冬を元気に乗り越えるためにも、十分な栄養と休息を取り、身体をしっかりとあたためながら過ごしていきましょう。